

集合研修ハイライト

グループワーク

グループワークにおいては、初めてビジネスプランを作成する大学生などと、NPO職員や具体的なビジネスプランを持っている人に分かれて、ビジネス・アイデアをまとめました。発表の後は、「それだったらウチの機材が使える」とか「その事業に協力できそうな人を知っている」など、研修生同士で情報交換が行われ、教室は熱気に包まれました。

グループワークのテーマ一覧

あなたにとっての「社会的課題」を深めよう

あなたが解決を目指す「社会的課題」とは何か、誰が課題を抱えているのか、なぜ起きているのか、どんなふうに解決したいのかを考えましょう。

「社会的課題」の解決策を考えよう

「社会的課題」を解決するためにどのような方法（組織を立ち上げるのか、商品や事業開発をするのか等）があるでしょうか。既にある事例やアイデアを活用しながら考えましょう。

自らの強みや資源は何かを考えよう

「社会的課題」の解決に活かせる、経験や人脈、スキルなどあなたの「資源」を棚卸しし、それらにどんな強みがあるのか、どのように活かしていくのかを考えましょう。

組織の特徴や強み・弱みを分析しよう

OJT研修で訪問する団体をはじめ、他の実践的な組織がどんな特徴や強みを持っているのか、分析する方法を学びます。また、実地研修中の過ごし方、研修レポートや報告書の書き方を学びます。



講師からのメッセージ



ロビン・ヘンショウさん
英国グラウンドワークオールダム&ロッチャードル元所長

これからは市民活動が重要な時代。
革新的な方法で、地域雇用を創造してほしい

今回、私は講義の中で、英国においては、NPOが政策提言と政策実施の両方で大きな役割を果たしていることを話しました。英国政府の「大きな社会」構想も、まさに市民の活動を重視するもので、この潮流は、世界中に広がっているのではないか。皆さんのビジネスプランがより良いものとなること、より革新的なやり方で地域社会にサービスを提供することができるようになること、そして地域での雇用が創造されることを願っています。



千賀 裕太郎さん
国立大学法人東京農工大学大学院連合農学研究科長
NPO法人日本グラウンドワーク連合代表理事

実行力に富む「挑戦事業」として
大いに期待されている



久住 剛さん
NPO法人パブリックリソースセンター代表理事

志と志が共鳴する「共創」の場となり
何よりも前向きに生きようとする
力を与えあえた

これだけ大規模なインターンシップ事業は日本初の試みでした。まず、この場を作り上げたグラウンドワークに感謝します。さらに、この場を最大限に生かした参加者を高く評価したいと思います。連日の研修が続く中、積極的に質問をし、作業に真剣に取り組む姿には、正直、目を見張りました。今後、この場で知り合った仲間がネットワークをつくり、互いに切磋琢磨していくことを期待します。そのためのフォローアップ体制が重要だと思います。



集合研修ハイライト

実践経験豊かな一流の講師陣が、環境、まちづくり、農山村振興、中間支援NPOなどの分野におけるNPOや地域ビジネスの立ち上げ、マネジメント強化に必要な基礎的・専門的な講義を行いました。質疑応答では、多くの研修生より挙手があり、各自が直面している課題などについても、具体的なアドバイスが行われました。

講習内容と講師

グラウンドワーク三島の多様な現場モデルのノウハウとは

渡辺豊博 都留文科大学教授・グラウンドワーク三島事務局長

'80年代に英国で始まったグラウンドワークとは、市民・NPO・行政・企業のパートナーシップのもと、環境再生とまちづくりに取り組む、地域総参加の活動です。どうしたら元気な地域を創ることができるでしょうか？グラウンドワーク三島の先進的な実践事例について学びます。

NPO基礎知識

渡辺豊博 都留文科大学教授・グラウンドワーク三島事務局長

NPO法人設立のメリットは何？NPO法人と会社の違いは何？静岡県NPO推進室長を務め、また本業のかたわら、富士山に関係する9つのNPO法人の事務局長職を歴任した経験から、NPOのマネジメントや資金調達の方法などNPOの基礎知識について、具体的に学びます。

地域を変える！地域を創る！

千賀裕太郎 東京農工大学大学院教授・連合農学研究科長・日本グラウンドワーク連合代表

「美しいまち・むらづくり」にはどんな計画と準備が必要でしょうか。都市・農村地域活性化、地場産業の活性化、自然を生かした住民参加のまちづくりについて学びます。

英国のグラウンドワーク運動～その歴史的役割～

ロビン・ヘンショウ 英国グラウンドワークオールダム&ロッチャードル元所長

小山善彦 バーミンガム大学客員講師

英国では1980年代初めに、サッチャー政権下で「グラウンドワーク」の実験事業が始まりました。行政主導政策の限界を打破するための実験でしたが、その特色となる行政、企業、市民によるパートナーシップ方式は大きな成果を上げ、その後の公共政策にも影響を与えました。グラウンドワーク運動が備えていた特質と、公共政策に与えた影響などについて学びます。

英国が目指す「新しい公共」～社会的企業の成長～

ロビン・ヘンショウ 英国グラウンドワークオールダム&ロッチャードル元所長

小山善彦 バーミンガム大学客員講師

最近の英国では、市民社会セクターの拡大により公共政策改革の動きが活発化しています。英国が目指す「新しい公共」とはどのようなものでしょうか、そしてその一翼を担う社会的企業の成長と役割について学びます。

ボランティア精神と起業意欲

北岡和義 日本大学国際関係学部特任教授・グラウンドワーク三島理事

米国人のボランティア精神と旺盛なるベンチャー意欲を日本と比較し、持続可能なNPOの経営手法やノウハウについて学びます。またその背景として、米国社会の相互扶助システムやコミュニティ活動などについても理解を深めます。

社会的企業の役割とは

久住 剛 パブリックリソースセンター代表理事

鷹野秀征 パブリックリソースセンター理事

社会的企業によるソーシャルビジネスの概観・現状を踏まえ、実践事例紹介を交えながら「今、なぜ社会的企業が注目されているのか、その役割・意義とは何か」を学びます。

社会的企業を立ち上げよう

久住 剛 パブリックリソースセンター代表理事

鷹野秀征 パブリックリソースセンター理事

社会的企業マネジメントの基本的な考え方である「ミッション・ベースト・マネジメント」を中心に、社会的企業の経営は通常の企業経営とどう違うのか、どこがポイントなのかを学びます。

資金や仲間・情報を集めよう

久住 剛 パブリックリソースセンター代表理事

鷹野秀征 パブリックリソースセンター理事

社会的企業を起業する上でのビジネスプランの考え方、特に資金調達や仲間・情報を集めることの大切さについて学びます。

講師の熱意のこもった語りに、研修生はたくさんの質問やコメントで応えました。

